



第147期

株主通信

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

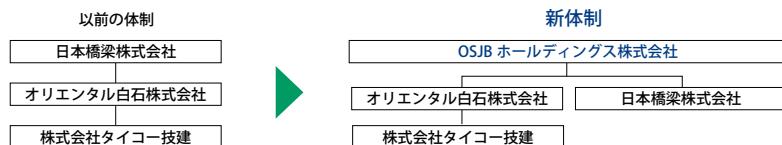


OSJBホールディングス株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第147期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の事業の概況等についてご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。当社は4月1日より純粋持株会社体制へと移行いたしました。



人と技術を活かし、社会基盤整備を通じて、人々の夢と将来に貢献する企業グループであり続けるとともに、企業価値の最大化を図ってまいります。皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月



代表取締役社長
井岡 隆雄

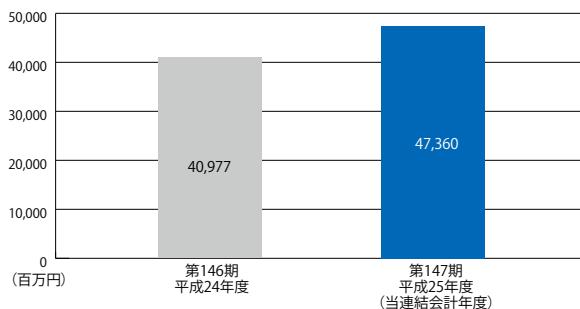
■ 当期の業績の概要

当社グループは、平成23年12月の日本橋梁株式会社とオリエンタル白石株式会社の経営統合後、橋梁上部工(プレストレストコンクリート橋・鋼橋)、橋梁下部工、基礎工、及び維持補修工の幅広い分野を網羅する「橋梁の総合建設会社」としての強みを活かすべく、入札競争力強化、受注の拡大、施工・技術の向上、コスト削減といった事業シナジーの推進に努めてまいりましたが、数値目標を確実に達成するためには、各事業会社が明確な責任と権限の下、コア事業に注力することが重要であると認識しております。そこで、平成26年2月18日開催の臨時株主総会において、吸収分割により純粋持株会社体制に移行する旨の決議がなされ、更なる連携強化と、各事業会社が持株会社の強力な統制のもとに機動的かつ柔軟な経営判断を行うことが可能となる事業環境を整えることができました。

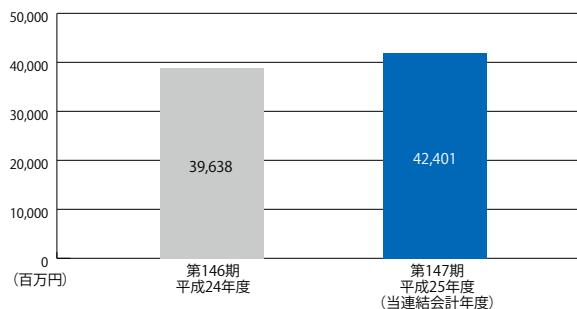
以上のような事業活動の結果、当連結会計年度における受注高は473億6千万円(前年度同期比15.6%増)、売上高は424億1百万円(前年同期比7.0%増)、受注残高は421億7千9百万円(前年同期比13.3%増)となり、損益面では営業利益は12億4百万円(前年度同期比19.1%増)、経常利益は12億8百万円(前年同期比30.3%増)、固定資産売却利益等の特別利益の増加に伴い当期純利益は28億3百万円(前年同期比533.7%増)となりました。

■ 財務ハイライト

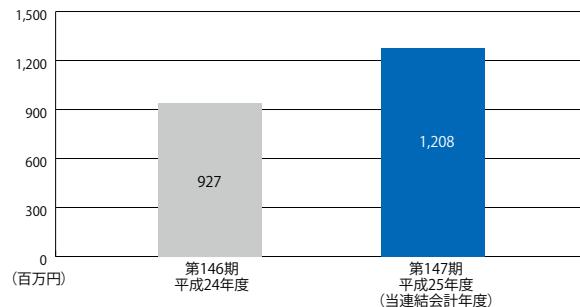
● 受注高



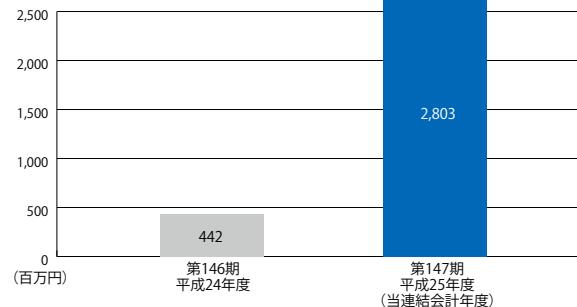
● 売上高



● 経常利益



● 当期純利益



■ 来期の見通し

公共投資関連の市場におきましては、震災復興関連事業や東京オリンピック開催に向けて見込まれる公共投資等によって事業量が回復傾向にあり、当面はその水準が持続する見通しです。一方、材料費、労務費等の建設コストの高騰は、工事採算に大きく影響を与える可能性があり、また企業間の受注獲得競争も非常に厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは受注量確保と事業採算性向上のバランスを重要視し、高い技術力に裏付けられた競争優位性を持つプレストレストコンクリート工法、ニューマチックケーソン工法、構造物の補修補強に係る特殊工法などに経営資源を集中させて経営基盤の強化を図ってまいります。

当該状況を勘案し、次期の通期連結業績予想は、売上高430億円、営業利益13億5千万円、経常利益13億円、当期純利益9億円としております。

■ 財務諸表の概況

● 連結貸借対照表

(平成26年3月31日現在)
(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
流 動 資 産	32,211,039	流 動 負 債	14,809,062
現金及び預金	10,800,996	支払手形及び買掛金	1,524,653
受取手形及び売掛金	17,014,650	短期借入金	1,170,000
仕掛品	770,892	1年内返済予定の長期借入金	30,000
原材料及び貯蔵品	116,140	未払金	7,262,742
繰延税金資産	417,917	未払法人税等	176,546
立替金	2,376,356	前受金	1,597,433
その他	735,293	預り金	1,764,419
貸倒引当金	△21,210	工事損失引当金	876,927
		完成工事補償引当金	75,005
		訴訟損失引当金	56,147
		その他	275,187
固 定 資 産	7,270,021	固 定 負 債	5,908,985
有 形 固 定 資 産	5,997,944	長期借入金	1,335,000
建物及び構築物	999,222	繰延税金負債	328,394
機械及び装置	1,040,299	退職給付に係る負債	4,191,778
土地	3,760,063	その他	53,813
その他	198,358	負 債 合 計	20,718,048
無 形 固 定 資 産	40,951	〔純資産の部〕	
投 資 そ の 他 の 資 産	1,231,125	株 主 資 本	18,874,141
投資有価証券	735,035	資本金	1,000,000
破産更生債権等	715,852	資本剰余金	453,957
繰延税金資産	267,553	利益剰余金	17,427,031
その他	288,351	自己株式	△6,847
貸倒引当金	△775,667		
		その他の包括利益累計額	△111,129
		その他有価証券評価差額金	97,195
		退職給付に係る調整累計額	△208,324
		純 資 産 合 計	18,763,012
資 産 合 計	39,481,060	負 債 純 資 産 合 計	39,481,060

●連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
(単位:千円)

科 目	金 額
売 上 高	42,401,960
売 上 原 価	38,300,347
売 上 総 利 益	4,101,613
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,897,260
営 業 利 益	1,204,352
営 業 外 収 益	
貸 貸 収 入	25,361
ス ク ラ ッ プ 売 却 益	46,405
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	19,002
そ の 他	61,712
営 業 外 費 用	
支 払 利 息	77,945
前 受 金 保 証 料	17,009
そ の 他	53,046
経 常 利 益	1,208,833
特 別 利 益	
固 定 資 産 売 却 益	401,594
課 徴 金 返 還 額	510,507
訴 訟 損 失 引 当 金 戻 入 額	669,935
特 別 損 失	
設 備 移 設 費 用	45,921
減 損 損 失	23,692
原 状 回 復 費 用	56,200
組 織 再 編 費 用	62,841
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	2,602,215
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	324,649
法 人 税 等 調 整 額	△ 526,004
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益	2,803,570
当 期 純 利 益	2,803,570

●連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主 資本合計
当 期 期 首 残 高	1,000,000	453,957	14,623,461	△ 6,695	16,070,723
当 期 変 動 額					
当 期 純 利 益			2,803,570		2,803,570
自 己 株 式 の 取 得				△ 151	△ 151
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 当 期 変 動 額 (純 額)					-
当 期 変 動 額 合 計	-	-	2,803,570	△ 151	2,803,418
当 期 末 残 高	1,000,000	453,957	17,427,031	△ 6,847	18,874,141

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当 期 期 首 残 高	72,558	-	72,558	16,143,281
当 期 変 動 額				
当 期 純 利 益			-	2,803,570
自 己 株 式 の 取 得			-	△ 151
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 当 期 変 動 額 (純 額)	24,636	△ 208,324	△ 183,688	△ 183,688
当 期 変 動 額 合 計	24,636	△ 208,324	△ 183,688	2,619,731
当 期 末 残 高	97,195	△ 208,324	△ 111,129	18,763,012

独自工法と特化技術で 社会基盤を創造する

常に社会から必要とされる集団であるために

大いなる自然と大地、未来を見つめる都市を舞台に橋梁や高速道路や鉄道、ライフライン施設など多種多様な社会資本を構築してきた、オリエンタル白石。人々の暮らしに潤いをもたらし、安全を約束する社会資本の建設には、当社の研究と経験によって培われブラッシュアップされた技術の数々が活用されています。

そして、これから。東京オリンピック開催に向けた都市環境の整備や新たなインフラ構築のほか、既存インフラの補修・補強、巨大地震やゲリラ豪雨などへの災害対策にも尽力。「人と技術を活かし、常に社会から必要とされる集団を目指す」という経営理念のもと、着実な発展を続けてまいります。

■ プレストレストコンクリート工法

プレストレストコンクリートとは、プレ=あらかじめ、ストレス=圧力をかけられた、コンクリートのことです。鉄筋の5～6倍の強度がある鋼材を引っばって緊張させた後に、コンクリートと固定。鋼材が元に戻ろうとする力を使ってコンクリートを圧縮させます。

こうして作られたプレストレストコンクリートは、とても強度が高く機能的であることから、さまざまな構造物に活用。また地震にも強いいため、特に安全性が重視される橋梁や鉄道、上下水道の貯水槽、公共施設などに積極的に取り入れられている技術です。特に当社の橋梁分野での施工技術は、世界最高水準であると自負しています。

■ ニューマチックケーソン工法

ニューマチックケーソン工法(Pneumatic Caisson Method)のPneumaticは「空気の」、Caissonは「函(はこ)」の意味で、潜函工法ともいわれます。地上でコンクリート構造物「函」を構築し、下部に設けた作業室で掘削し、地中深くに構造物を沈設させる工法です。地下水の浸入を防ぐため、作業室には圧縮空気を送ります。この工法は作業室内の空間で地盤を確認しながら掘削・排土して「函」を沈めていくため、あらゆる地盤に対応可能で、長大橋梁の基礎やポンプ場など、数多くの地下施設に活用されています。

特に当社は本工法を日本に導入、発展させてきたパイオニアであり、世界最高技術と施工実績を誇ります。

プレストレスト
コンクリート工法

ニューマチック
ケーソン工法

PC建築

補修 補強



第二名神高速道路木曾川橋(三重県)



小松川第二ポンプ場(東京都)



中央自動車道上長房橋補強工事(東京都)



水沢卵形消化槽(岩手県)



門真調節池築造工事(大阪府)



豊橋技術科学大学電気情報研究棟(愛知県)

■ PC建築

プレキャストプレストレストコンクリート工法(以下PCaPC工法)や建築物の耐震補強工法技術を用いた施工を行っています。

PCaPC工法は、工場で製作された建築部材を現場にて組み立て、プレストレスを与えて一体化させて建築物を構築していく工法です。現場における工期短縮や廃棄物の削減、騒音の低減のほか、工場製品の特徴である高品質部材の供給は、あらゆる建築の現場においてニーズが高まっています。

建築物の耐震補強工法としては、「PCa外フレーム工法」と「PCaブレース工法」の2つの工法を開発しました。これらは建物の外側から耐震補強する工法のため、室内を使いながら工事を行うことができます。これまで学校、病院、マンションなど多くの建物に採用されています。

■ 既存の社会基盤への補修・補強

1960年代以降急速に整備が進んだ社会基盤も、今や約半世紀の時を経て老朽化が問題視され、インフラ更新や再生は、まさに喫緊の課題として対応を迫られています。

当社は、来るべき「社会基盤のリニューアル時代」を予測し、社会のニーズに応えるべくさまざまな補修・補強、メンテナンス技術も開発。特に巨大地震への備えとして、さまざまな構造物に対する耐震強化技術を完成させてきました。

これからも都市の未来を見つめ、さらなる技術の研鑽を進めてまいります。



日本橋梁株式会社

常に新しい技術と 品質の向上に挑戦

播磨工場からの大ブロック浜出し



豊洲大橋(東京都)

大正時代に架けた橋



岩井橋(愛知県) 大正12年施工[土木学会選奨土木遺産]

世界一の吊橋



明石海峡大橋(兵庫県)

鉄道橋



成田高速線印幡捷水路橋りょう(千葉県)

新設鋼橋

当社は、我が国有数の歴史と優れた実績を誇る、鋼橋の設計・製作・架設会社であり、「品質の日本橋梁」として、その技術と品質を長年にわたり評価していただいております。この誇りを胸に、私たち日本橋梁は、「大正・昭和・平成の90余年、代々受け継いだ貴重なノウハウ」を駆使して、人々の生活道路の橋から、鉄道橋、海峡を渡る長大橋まで、あらゆる種類の橋梁構造物を、高い品質と高い安全性で、また、環境への配慮を常に怠ることなく、実現してまいります。

補修 補強

さらに、当社が架けた歴史的な橋梁などの長寿命化補修・補強技術の実績を持って、社会資本の高齢化時代における維持管理の課題にも貢献してまいります。

舞鶴若狭自動車道 黒河川橋(鋼・PC複合上部工)工事



本工事は、オリエンタル白石と日本橋梁の共同企業体(JV)にて施工を行った工事です。舞鶴若狭自動車道の未開通区間(小浜IC~敦賀JCT)L=39kmのうち、敦賀JCTの西6kmに位置する黒河川を跨ぐ部分を含む、鋼桁橋とPRC桁橋が接合部により連結された全長484.4mの異種桁混合形式の連続高架橋です。

一目では地味な感じの橋梁ですが、この形式(鋼・PRC異種桁混合)の橋梁は、PC・メタルの異工種業者が協力し施工しなければならないため、施工実績が少なく、施工方法(ステップ・支保工)や使用材料に配慮・工夫して施工しました。

平成25年5月に施主より優良評価を得て、無事完成(竣工)しました。



接合部の鋼材配置



接合部コンクリート打設状況

- 【契約工事名称】 舞鶴若狭自動車道 黒河川橋(鋼・PC複合上部工)工事
- 【発注者名】 中日本高速道路株式会社 名古屋支社 敦賀工事事務所
- 【施工者名】 オリエンタル白石(株) 日本橋梁(株) 特定建設工事共同企業体
- 【工事場所】 福井県敦賀市 長谷 ~ 福井県敦賀市 山
- 【工期】 平成22年9月2日~平成25年5月28日(竣工)
- 【工事概要】 形式 13径間連続鋼・PC複合上部工(鋼5径間連続2主桁+鋼2主桁+鋼桁+PRC7径間連続2主桁)
 - ・橋長 484.4m
 - ・支間長 鋼桁部標準支間: 42m, 最大支間: 64m, PRC標準支間: 31m
 - ・幅員 10.31m

株式の状況

●株式の状況（平成26年3月31日現在）

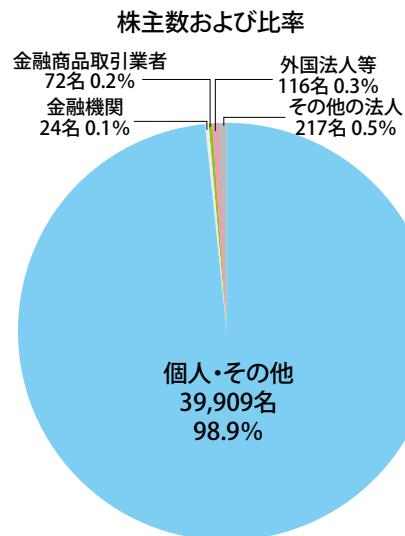
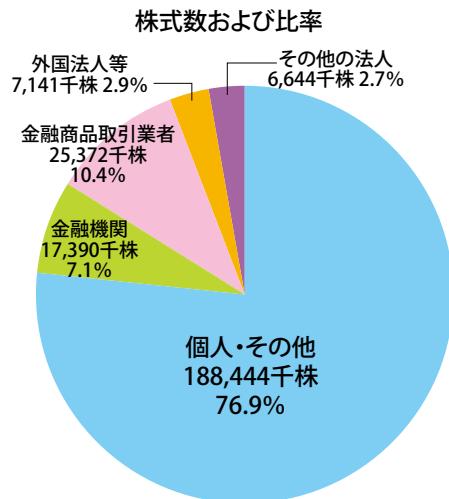
発行可能株式総数	277,618,800株
発行済株式の総数 （自己株式35,956株を除く）	244,990,826株
株 主 数	40,338名

●大株主

株 主 名	持 株 数(千株)	持株比率(%)
ジャパン・リカバリー・ファンドⅢ	24,502	10.00
日本証券金融株式会社	8,665	3.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,789	1.96
株式会社SBI証券	4,683	1.91
松井証券株式会社	4,306	1.76
野村証券株式会社	2,575	1.05
マネックス証券株式会社	2,264	0.92
双日株式会社	1,460	0.60
岡三証券株式会社	1,404	0.57
株式会社証券ジャパン	1,345	0.55

(注) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除した株式数を分母に用いて算出しております。

●所有者別株式の分布状況



■ 会社の概要

●会社概要

商 号 O S J Bホールディングス株式会社
創 業 平成26年(2014年)4月1日
資 本 金 10億円
売 上 高 (連結) 424億1百万円(平成26年3月期)
従業員数 (連結) 777人(平成26年3月31日現在)
事業内容 グループ企業の経営計画ならびに管理
所 在 地 東京都江東区豊洲五丁目6番52号
T E L. 03-6220-0601
F A X. 03-6220-0602
U R L. <http://www.osjb.co.jp/>
株 式 東証 市場第一部
主要取引銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行

●取締役及び監査役

代表取締役社長 井岡 隆雄
取 締 役 坂下 清信
取 締 役 高井 繁
社外取締役 込山 雅弘
社外取締役 住江 清
常勤監査役 天野 和則
社外監査役 平井 利明
社外監査役 滝谷 政春
社外監査役 滝口 勝昭

●グループ会社概要

商 号 オリエンタル白石株式会社
創 業 昭和27年(1952年)10月21日
資 本 金 5億円
従業員数 625人
事業内容 プレストレストコンクリートの建設工事および製造販売
ニューマチックケーソン・補修補強等の建設工事
耐震補強建築工事の設計・施工
建設資材の販売
所 在 地 東京都江東区豊洲五丁目6番52号
U R L. <http://www.orsc.co.jp/>
役 員 代表取締役社長 井岡 隆雄
取 締 役 手嶋 和男 大野 達也
高橋 健次 高井 繁
橋本 幸彦
常勤監査役 川島 東州
社外監査役 滝谷 政春 滝口 勝昭

商 号 日本橋梁株式会社
創 業 大正8年(1919年)7月7日
資 本 金 4,000万円
従業員数 114人
事業内容 橋梁等の鋼構造物の設計・製作・架設工事
所 在 地 大阪府大阪市西区江戸堀一丁目9番1号
U R L. <http://www.nihon-kyoryo.co.jp/>
役 員 代表取締役社長 坂下 清信
取 締 役 神谷 保 毛利 良介
監 査 役 遠藤 港

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
基準日 定時株主総会 3月31日
その他必要があるときは、取締役会で決議し、あらかじめ公告する一定の日
期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

公告方法 当会社の公告方法は、電子公告とする。
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載して行う。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 大阪市中央区伏見三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL.(通話料無料)0120-094-777

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 特別口座に記録された株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

TEL.(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部)
ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
単元株式数 100株



OSJBホールディングス株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目6番52号(NBF豊洲キャナルフロント)
TEL.03-6220-0601 FAX.03-6220-0602 URL.<http://www.osjb.co.jp/>